

事業実施報告書

法人名 特定非営利活動法人たねの会

事業名	誰一人取り残されない学びの保障にむけた地域づくり事業																		
助成事業の種類	自立促進事業																		
1. 事業の目的	誰一人取り残されない学びの保障にむけた地域づくり																		
2. 事業で取り組んだ地域や社会の課題	実施場所：埼玉県さいたま市岩槻区 課題：不登校の児童生徒の数が過去最多になっているが、その背景の地域での理解が進んでおらず、そのような親子がのびのびと地域で過ごし、学べる環境・居場所が不足している。																		
3. 取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">時期</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>準備</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>室内プレーパーク&親の会開催（～9月）</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>親の会&こどもの会（他、10月、2月） 映画「ゆめパのじかん」上映会</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>まちの達人と遊ぼう（他、11・12・1月）</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>子ども支援に関する学習会（他、12・2月）</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>ストリートイベントへの参加</td> </tr> </tbody> </table> <p>○広報実績について チラシの作成・配布 自団体のHP、FBでの告知 子ども応援ネットワーク埼玉FBでの周知</p>	時期	内容	7月	準備	8月	室内プレーパーク&親の会開催（～9月）	9月	親の会&こどもの会（他、10月、2月） 映画「ゆめパのじかん」上映会	10月	まちの達人と遊ぼう（他、11・12・1月）	11月	子ども支援に関する学習会（他、12・2月）	12月		1月		2月	ストリートイベントへの参加
時期	内容																		
7月	準備																		
8月	室内プレーパーク&親の会開催（～9月）																		
9月	親の会&こどもの会（他、10月、2月） 映画「ゆめパのじかん」上映会																		
10月	まちの達人と遊ぼう（他、11・12・1月）																		
11月	子ども支援に関する学習会（他、12・2月）																		
12月																			
1月																			
2月	ストリートイベントへの参加																		
4. 事業実施により達成した成果の具体的な内容	学校外の居場所を求めている親子に出会い、実際にその居場所となる事業が実施でき、その親子が直面する悩みを通して社会課題を把握することができた。また、学習会、上映会を通して、当事者ではない方たちとも一緒にその課題について考え、今後の地域社会に必要な視点を学び、交流することで今後のつながりも得ることができた。																		
5. 費用面での工夫	「まちの達人であそぼう」では、当初3名の方に依頼を考えていたが、この活動に力をいれることが必要と判断したため、4名（4回）に回数を増やし、謝礼の単価を抑えさえていただいた。																		

6. 地域社会への還元について	<p>学習会、上映会、まちの達人と遊ぼう、ストリートイベントへの参加などでは、広く地域の方にも開いて実施することで、実施地域にその効果を広げることができ、拠点となる場所、我々の活動が1つの地域資源として認知していただくことができた。</p>
7. 来年度以降どう事業を継続し発展させていくか	<p>1. 「こどもの会（遊びの会）&親の会（おしゃべり会）」の継続 月に1回程度、こどもは遊び、親は親同士話せる場づくりを継続する。本事業でつながりの持てた親にも参加してもらうことで、始めてきた親にとっても安心して気持ちをお話できる場づくりができるのではないかな。</p> <p>2. 「まちの達人とあそぼう！」の継続 イベント的に継続して開催したことで、「何か自分にもできることがあれば」と言ってくれる方も増えてきた。活動の中でつながりのできた方々にもご協力いただきながら、子どもたちと地域の方がつながれる場を継続していきたい。</p> <p>3. 学習会の継続・発展 今回、「韓国と台湾の教育制度から考える不登校とは？」「多様な学びを保障するために必要なこと」「子どもの学ぶ権利と多様な学びのこれから～こども基本法の施行をふまへ」の3回を実施し、日本における教育制度の課題や現状についての認識を深めることができた。今後はより、自分たちの身近な暮らしの中で何ができるかを考え、実践していくためのつながりづくり、学習の場をもうけていきたい。</p> <p>4. ストリートイベントへの参加・開催 家庭だけではできないこととして、こうしたまちでの活動があげられる。イベントへの参加のみならず、今回できたつながりを元に、自分たちでイベントを企画、実施させてもらうなど、より子ども主体で活動できる場、生きた学びの場をつくっていきたい。また、地域の方に、こうした子どもたちの姿をみてもらうことで、「不登校」の子どもたちへの偏見をゆるめ、どんな子どもものびのびと遊び育つことのできるまちの空気を醸成していきたい。</p> <p>5. 声を集め、行政へ届ける 今回の学習会で学んだように、子どもが自分の学びの場を選べるようになるためには、学校外の場合の経済的支援も必要である。また、親や子どもが現在何に苦しんでいるのかということ、今後の行政施策にも活かしていただけるよう、声を届けたり発信を強めていきたい。</p>

事業収支計算書

法人名 特定非営利活動法人 たねの会

1 収入の部

項目	予算額 (円) A	決算額 (円) B	増減額 (円) B-A	備考
県助成希望額	500,000	500,000	0	
自己資金		6,839	6,839	
事業実施による収入等	40,000	26,000	-14,000	
その他			0	
合計	540,000	532,839	-7,161	

2 支出の部

項目	予算額 (円) A	決算額 (円) B	増減額 (円) B-A	備考
会場費	32,000	33,810	1,810	
通信運搬費	8,000	1,378	-6,622	
旅費交通費	31,200	38,022	6,822	
消耗品費	92,200	83,746	-8,454	
備品費	0	0	0	
委託費	87,600	93,750	6,150	
謝金	74,000	82,413	8,413	
人件費	205,000	195,000	-10,000	
その他	10,000	4,720	-5,280	
合計	540,000	532,839	-7,161	

※会場費を助成対象期間前にやむを得ず支払った場合は、備考欄に「助成対象期間前に支出」と記載する。